

令和4年度 指定管理者制度導入施設 管理運営評価書

1 施設の概要

施設名称	吉野川市高越弓道場	指定管理者	高越弓道会
施設所在地	吉野川市山川町榎谷2 2 6 番地 2	施設所管課	生涯学習課
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日	選定方法	公募・非公募
指定管理者の主な業務	施設及び設備の維持管理に関する業務、利用許可に関する業務		
利用料金制の導入	有・無	自主事業	有・無

2 施設の利用状況等

項目（利用人数、苦情件数等）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数等	660人	493人	597人	572人
苦情・要望等件数	0件	0件	0件	0件

3 収支状況

収支【指定管理業務】			
計画額		収支実績額	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
【収入】		【収入】	
指定管理委託料	210,000	指定管理委託料	213,888
利用料金	10,000	利用料金	1,400
雑収入	833	雑収入	0
前年度繰越金	19,167	前年度繰越金	19,167
合計	240,000	合計	234,455
【支出】		【支出】	
維持費	75,000	維持費	64,324
事務費	165,000	事務費	139,523
その他経費	0	寄付金等	30,000
合計	240,000	合計	233,847
損益	0	損益	608

収支【自主事業】			
計画額		収支実績額	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
【収入】		【収入】	
合計	0	合計	0
【支出】		【支出】	
合計	0	合計	0
損益	0	損益	0

4 利用者アンケート等

実施時期	令和4年4月令和5年3月まで
調査方法	実施期間中の施設利用者から随時聞き取り
調査結果	調査件数 0件
意見要望・苦情等の内容	特になし

5 指定管理者及び市（施設所管課）による評価

項目	評価項目	指定管理者自己評価	市施設所管課評価
平等利用	市民の利用にあたり、公平であるか。正当な理由なく、一部の市民に利用制限や優遇が行われていないか。	A	A
事業実施状況	事業計画書に基づき、適切に事業が実行されているか。	A	A
広報・PRの実施	利用促進のための取組みを実施しているか。	B	B
管理運営方針	市の方針、施設の設置目的、業務等を的確に理解した管理運営はされていたか。	A	A
施設・設備の保守管理	仕様書等に基づき、清掃、警備、衛生の点検・管理が適切に行われているか。	A	A
	利用に支障をきたすような状況を放置せず、適切に修繕が行われているか。	A	A
再委託業務	再委託されている業務の範囲・理由等は適切であり、かつ委託先の業務を適切に管理しているか。	A	A
備品等の管理	備品等を適切に管理され、その機能が失われていないか。	A	A
持ち込み物品等の管理	持ち込み物品等が適切に管理されているか。	A	A
職員体制・人員配置	職員体制、人員配置、労働環境は適切か。必要な資格、経験等を有する人員が確保されているか。	A	A
職員の労働条件	労働基準法の労働関係法令を遵守されているか。	B	B
職員研修等	職員研修や業務指導に関し、適切に実施されているか。	B	B
法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告、手続き等を行っているか。	A	A
利用者アンケートへの対応状況	利用者アンケート等が適切に実施されており、要望・苦情等に適切に対応しているか。	B	B
連絡調整	協定書等に従い、市への各種届出、報告、提出、協議、相談等を適切に行っているか。	A	A
職員の接遇等	言葉づかい、態度、電話対応、名札、服装等は適切か。	A	A
苦情・要望の把握・対応	要望・苦情等に適切に対応しているか。（記録簿整備を含む。）また、重要な事案は、市に報告しているか。	A	A
地域との連携	地域の住民や関係団体等との連携に積極的に取り組んでいるか。	A	A
地域貢献	市内業者の活用、市民の雇用など地域への貢献への配慮がされているか。	A	A
危機管理、事故・災害等への対策・対応	事故や災害等の緊急時のマニュアルが整備され、連絡体制が確立しているか。	B	B
	利用者の安全確保に対する研修・訓練等を実施し、職員が内容を熟知しているか。	A	A
	施設・警備等の防犯体制は適切であるか。	A	A
個人情報及び秘密の保護	個人情報及び職員が業務上知り得た秘密について、職員への指導の徹底と対策が講じられていたか。	A	A
帳簿管理・経理	経理帳簿や台帳を整備し、適切に経理事務が行われているか。	A	A
事務処理等	業務日誌、各種報告書を適切に作成・整備し、遅延なく市に提出されているか。	B	B

6 指定管理者による自己評価（コメント）

令和4年度の自己評価	利用者のニーズに応じた専門施設として有効利用するために開放している。施設の点検を定期的に行い、利用者の安全性向上に努めた。
今後の目標	利用者の増加を図るため情報発信や普及活動に取り組む。

7 市（施設所管課）による総合評価（コメント）

専門施設としての特性を活かし、伝統武道の継承と普及に大きく貢献している。老朽化に伴う施設の修繕等も継続的に行っていく必要がある。	総合評価
	A